



万葉集編纂者・大伴家持
ゆかりの地域を訪ねて

令和4年10月15日(土)
2022鳥取大会
実績報告書

令和の万葉大茶会2022鳥取大会実行委員会



日本博イノベーション型プロジェクト 「令和の万葉大茶会」

～万葉集編纂者とされる大伴家持ゆかりの地域を訪ねて～

新元号「令和」の典拠となった万葉集「梅花の宴」を再現する

このプロジェクトは、日本最古の歌集たる万葉集、その編纂者とされる「大伴家持」の生涯にクローズアップします。

幼少期に父である大伴旅人が赴任した地・太宰府にて、舶来の梅を植え、その梅花を愛でる酒宴を興じた、新元号「令和」の典拠ともなった「梅花の宴」を茶会形式で再現致します。記念すべき第1回は、2020年、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、国の特別名勝・特別史跡に指定されている会場周辺の中央区・浜離宮恩賜庭園で、実施しました。

その後は、家持の人生のステージごとに、赴任地である富山県高岡市（2021・秋）→鳥取県鳥取市（2022・冬）→福岡県太宰府市・鹿児島県川内市（2023・春）→宮城県多賀城市（2024・夏）と巡り、最後は関西地域ゆかり（大阪府・京都府木津川市・奈良県明日香村）の大阪万博（2025・没後1240年）での開催を目指します。特に多賀城市は、2024年に「多賀城創建1300年」を迎え、東日本大震災からの復興の意味でも象徴的なイベントとなります。

万葉集では、約4500首のうち、1700首以上で動植物の歌が詠まれており、まさに3首に1首が、ありのままの自然に心を寄せた歌です。家持は、特に季節を意識して歌を詠んだ歌人であり、全20巻のうち、巻八と巻十は、「四季の景物」をテーマに編纂された巻となっています。また、家持の生きた時代は万葉時代の最後期、天平文化華やかかなりし時代ですが、一方で権力争いも続いた時代です。そのため、万葉集には、北九州の防衛について「防人歌」や東国庶民の「東歌」といった、都びとだけでなく、多くの地方庶民の歌も含まれています。日本全国、その地域ならではの自然観や季節感を感じることができるのも特色です。こうした家持ゆかりの地域を巡り、和歌の世界観を知ることが、例え現代の生活環境や社会通念が変わろうとも、自然を尊び、人を愛し、死を悼む、といった、直接的で、素朴な日本人の心情に大きな隔たりがないことに改めて気づかされます。

環境問題が深刻なりし今こそ、古より自然を敬い、尊んできた日本人の精神性を問いなおすべきであり、「万葉集」は、それを学ぶ最高の教科書です。

さらに本イベントでは、和歌に優れた英訳詩を付け、世界に発信も試みます。和歌を通し、家持の世界観を知ること、外国の方々も関西や太宰府だけでなく、そこから現存する家持ゆかりの他の地域へ足を運んで頂く新たなゴールデン・ルートの構築となるに違いありません。なお、本イベントに際しては、100年後の子供たちが万葉集に詠まれる日本の四季を理解できるよう、自然環境や気候変動に配慮し、日本の最先端技術の結集である水素燃料電池より電源を調達し、CO²を出さないように配慮します。自然への敬意が、「万葉の時代から令和へ」と連綿と紡がれていることも重ねて発信致します。



万葉の心に思いをはせて、 「梅花の宴」を鳥取で再現

「令和」は、日本最古の歌集である万葉集を典拠とし、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められて制定されました。

万葉集の編纂者とされる大伴家持の父である大伴旅人が太宰帥（長官）として赴任していた時、当時はめずらしかった梅の花を愛で、32首の歌を詠みあった「梅花の宴」は、まさにうるわしいひとときであったことでしょう。当時13歳だった家持が、まぶしい瞳で見ていたことは想像にかたくありません。

その家持が年を重ね、天平宝字2年（758年）国守として任ぜられ、因幡国に赴任します。それまでは花を愛でて歌を詠んだ父のように、自然を愛し、多くの歌を詠んできた家持ですが、ここ因幡国で残した歌は僅か一首のみとなっています。時に家持41歳。名門大伴家の当主でありながら藤原氏の台頭により、陰謀渦巻く政争の動乱の中にありました。そんな想いを抱いたまま山陰の地で迎えた正月（元旦と立春が重なる吉日）。国守として新年の儀式的な一首の歌を詠みます。「降り積もる雪のようによいことが重なってくれ」、この言葉は家持の心からの願いだったのではないのでしょうか。結果的にこの歌は、万葉集の掉尾を飾り、家持の残した最後の歌ともなりました。

家持ゆかりの地域をつないで開催される「令和の万葉大茶会」。2022年は鳥取で開催いたします。

家持が最後の歌を残した因幡の雄大な自然は、遠い時を経ても変わらず私たちの前にあります。どうかその景色を前に、1300年前の家持の心情に心を寄せてみてください。家持もかつてこの地で降り積もる雪を前に、昔見た梅花の宴を懐かしく思い起していたのかもしれません。

そんな家持の生涯をはじめ、因幡国の古代の歴史や文化について多くの資料を有する鳥取市因幡万葉歴史館で「梅花の宴」を再現します。

私たち日本人には、どこにあって自然を感じ、自然とともに生きています。そして、感動せずにはいられません。未来へのこの自然を伝えていくために、水素エネルギーの活用も実演し、広く発信していきます。

万葉集編纂者・大伴家持ゆかりの地 因幡国・鳥取を訪ねて

家持、因幡国に赴任

大伴家持は、天平宝字2年(758年)に因幡国の国守として赴任し、翌3年(759年)正月元旦の宴の席で一首の歌を詠みます。この歌を最後に万葉集は締めくくられ、その後家持の歌は残されていません。

国守としての信念の礼儀的な歌ですが、「降り積もる雪のようによいことが重なってくれ」という言葉は、家持の心からの願いだったのではないのでしょうか。

万葉集最後の歌が詠まれた地、鳥取で家持の心情に思いを馳せます。



◎鳥取市因幡万葉歴史館

因幡国庁跡

奈良・平安時代に因幡国を治めていた役所の跡。発掘調査が行われた際には、役人が政治をしていた正殿跡や掘立柱、土器、硯、陶器なども発見されている。国指定史跡。



因幡三山

鳥取市国府町周辺にある「飯山(こしきやま)」「今木山(いまきやま)」「面影山(おもかげやま)」の三つの山のこと。因幡国庁を中心に、三方向に臨むことができる。古代からのいわれのある山々で、万葉集ともゆかりが深く、地域の人たちに親しまれている。

新しき年の始めの初春の
今日降る雪のいや重け吉事

巻20 | 4516



大伴家持歌碑

鳥取市国府町の序集落の一角に1922年(大正11年)に建立。歌碑には万葉集の最後を飾る大伴家持の歌が刻まれている。鳥取市指定文化財。



宇倍神社

御祭神として祀られている武内宿禰命は360歳まで生きたと言われ、長寿の神とされる。また、明治32年発行の日本銀行券「甲五圓券」に、全国の神社で初めて社殿が図柄として採用されたことから、商売繁盛、商売繁盛、金運上昇の神としても全国から多くの参拝客が訪れる。



鳥取市因幡万葉歴史館

鳥取市国府町に1994年に開館。大伴家持をはじめとする万葉歌人と、因幡国の古代の歴史や文化(因幡の傘踊りや麒麟獅子舞)を紹介している。「旧正月万葉茶会」「万葉集朗唱の会」など、家持に関するイベントも多数開催している。

1. 実行委員会の開催状況

R4.2.16(水) 第1回実行委員会 鳥取市国府町コミュニティセンター	設立総会開催、規約、役員の互選、令和の万葉大茶会2022鳥取大会計画、収支予算(15,800千円 補助対象15,000千円)、行程の承認を得る。
R4.4.20(水) 第2回実行委員会 鳥取市役所本庁舎6階4会議室	実行委員会顧問・オブザーバーの委嘱、令和の万葉大茶会2022鳥取大会計画の一部変更(交流会 鳥取市・東京都調布市・狛江市追加)、収支第1回補正予算(13,000千円 補助対象12,000千円)の承認を得る。
R4.6.2(木) 第3回実行委員会 鳥取市因幡万葉歴史館	協賛金の状況報告、別途連携事業10月16日エクスカッション「あめつち伯耆国府跡ツアー」、「憶良と家持展」の報告。
R4.9.2(金) 第4回実行委員会 鳥取市役所本庁舎6階4会議室	協賛金の状況報告、令和の万葉大茶会2022鳥取大会計画の一部変更(交流会 長野県軽井沢町追加、万葉歌碑・国庁跡・茶会を班編成しローテーションで巡るに変更、宇倍神社で麒麟獅子での歓迎を国庁跡に変更、コロナ感染状況による大会開催に一般参加を入れるかどうかの判断基準を提示)、収支第2回補正予算(14,260千円 補助対象12,000千円)の承認を得る。

2. 広報活動

ホームページアップ	鳥取市因幡万葉歴史館ホームページに「令和の万葉大茶会2022鳥取大会」を6月上旬に掲載。日本博のホームページにも情報提供掲載。
報道機関資料提供	令和4年9月26日(月)令和の万葉大茶会2022鳥取大会・大会キー納品会(9月30日)について、資料提供。(日本海新聞10月5日、読売新聞10月13日記事となる。)
新聞折込実施	令和4年9月29日(木)鳥取市内全域に日本海新聞へのチラシ6万部を折込広告実施。翌日より問合せが多数来しました。

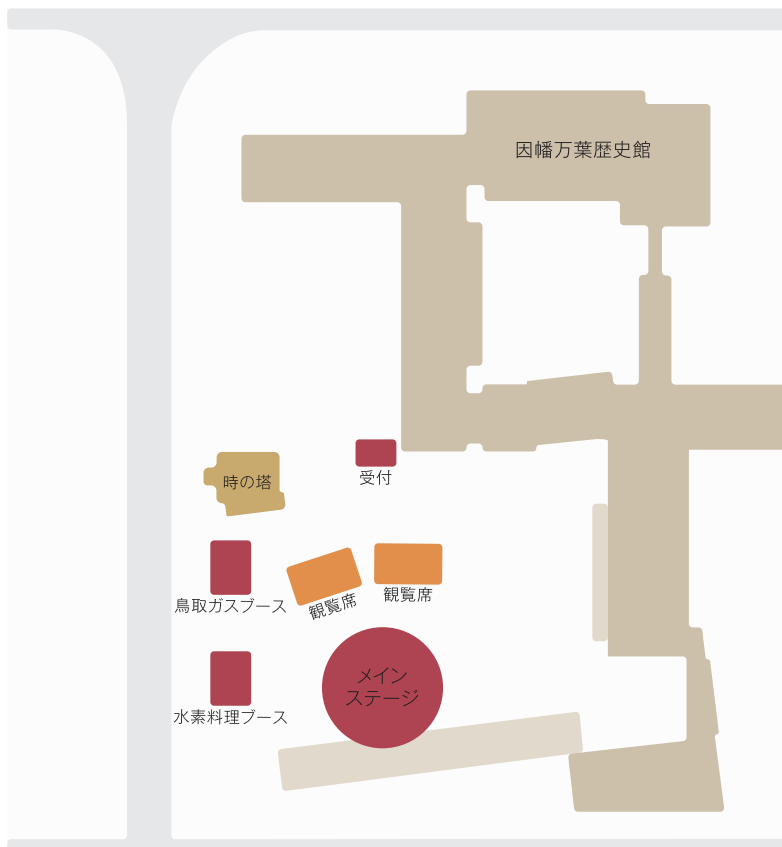
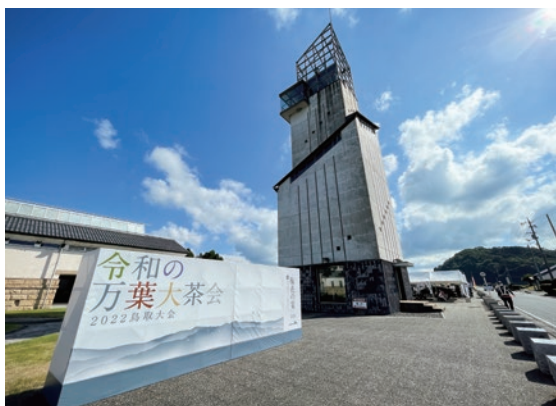
3. プログラム 令和4年10月15日(土)

「梅花の宴」 会場: 因幡万葉歴史館	13:00	オープニングアクト 「雅楽」(山陰雅楽舎)／水素調理万葉食・令和餅のふるまい
	13:30	朗読劇「梅花の宴」(青翔開智中学校・高等学校)
	14:00	因幡万葉歴史館 「憶良と家持」展 観覧
「万葉大茶会」 会場: 宇倍神社	14:30	「万葉大茶会」 二十五絃箏演奏 野点によるお茶会
	～16:30	大伴家持が赴任した因幡国庁跡。家持が、この地で詠み、万葉集の最後を飾った歌碑をガイドと一緒に巡ります。因幡国庁跡では、人々に幸福をもたらす芸能として因幡・但馬の地域に愛され、日本遺産にも認定された、麒麟獅子舞の演舞もお楽しみ頂きます。
万葉故地巡り 会場: 因幡国庁跡 万葉歌碑		
鳥取大会式典／基調講演 会場: ホテルニューオータニ 3階 鶴の間	18:00	記念式典 主催者あいさつ／歓迎あいさつ／来賓あいさつ
	18:30	基調講演 演題「スーパー家持」～5人の家持～ 歌人 小島ゆかり様 演題「鉄道分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組み」 国土交通省鉄道局次長 平嶋隆司様
	19:40	交流会 関係市町村プレゼンテーション ・鳥取県鳥取市・長野県軽井沢町・東京都調布市・東京都狛江市 ・富山県高岡市・福岡県太宰府市・宮城県多賀城市・奈良県明日香村
	20:50	大会キー伝達 鳥取市・鳥取県から太宰府市へ伝達
	21:00	閉会

鳥取市因幡万葉歴史館

大伴家持が万葉集最後の歌を詠んだ万葉の里国府町にて平成6年に開設。

万葉歌人として、そして政治世界を生き抜いた大伴氏の長としての大伴家持の生涯に迫る、「大伴家持ホール」をはじめとして、因幡国の古代の歴史や文化について多くの資料が展示・解説されています。



時の塔

鳥取市因幡万葉歴史館のシンボルタワー。
高さ30mの展望室からは今大会の舞台の一つでもある「因幡三山」が望むことができる。



メインステージ



鳥取ガスブース

■ 令和の万葉大茶会

日時：令和4年10月15日（土）

会場：因幡万葉歴史館

参加者：大会関係者250人／一般見学者700人

「梅花の宴」再現



初春の令月にして
気淑く風和らぎ

大宰帥 大伴旅人の邸宅に咲いた白梅の花を、歌に詠んだ「梅花の宴」。
そこで詠まれた歌32首のうち16首を、地元の青翔開智中学校が朗読劇として再現。
出演者は万葉衣裳を着用し、宴を華やかに彩りました。



司会／田中 奏子

◆オープニングアクト
「山陰雅楽舎」

◆梅花の宴 朗読劇
「青翔開智中学校・高等学校」



水素による再生可能エネルギーの活用

CO₂を排出しない次世代エネルギーとして期待されている「水素」。

万葉大茶会2022鳥取大会では、水素エネルギーを活用してイベントを開催しました。

水素電池燃料自動車の展示や水素調理による万葉食の再現などを通して、持続可能な循環型社会の形成、文化が育まれ続ける社会の在り方を提案します。

◆水素自動車の展示・パネル展



因幡万葉歴史館では、鳥取市に本社を置く鳥取ガス株式会社の水素電池燃料自動車の展示とパネル展を開催しました。また宇倍神社では、鳥取県が所有する水素電池燃料自動車から電源を供給し、沸かしたお湯で点てた茶の湯を使用したお茶会を開催しました。

◆水素調理万葉食・令和餅(万葉餅)のふるまい



令和餅(万葉餅)



水素調理(万葉食)



水素調理ブース(別途連携事業)

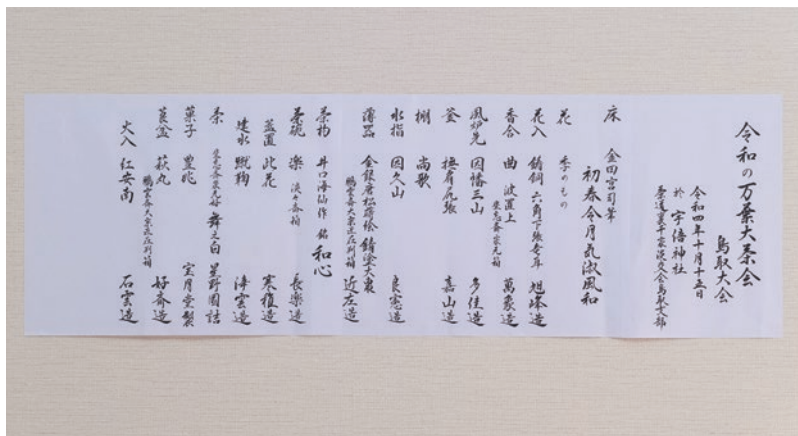
水素の利活用サービスを提供する株式会社H2&DX社会研究所によって、連携事業として水素調理による万葉食の再現が行われました。炎の燃焼に水素ガスを使用することで、水蒸気が発生し、素材の持つ味を引き出します。鳥取ゆかりの食材がふんだんに使用され、因幡の歴史と自然の恵みが感じられる万葉食・令和餅が来場者にふるまわれました。

「万葉大茶会」

会場：宇倍神社

参加者：大会関係者207人／一般見学者700人

歴史ある宇倍神社の境内に湧き出た水を、鳥取県の協力により水素燃料電池で沸かし、点てたお茶でお茶会を開催しました。家持ゆかりの関係自治体の代表者等には、万葉衣裳をご着用いただきました。



◆「二十五絃箏演奏」 作曲者:伊福部 昭 氏 編曲者:田中 修一 氏
演奏者:野坂 恵璃 氏 久東 操恵寿 氏 花岡 操聖 氏



◆「野点によるお茶会」



「万葉大茶会」に合わせて宇倍神社では、「二十五絃箏演奏」と「野点によるお茶会」を開催し、多くの人で賑わいました。

万葉故地巡り

会場：因幡国庁跡、万葉歌碑



因幡国庁跡

家持が政務を執った因幡国府の中心である因幡国庁跡。人々に幸福をもたらす芸能として因幡・但馬の地域で親しまれている、麒麟獅子舞の演舞の披露も行いました。

万葉歌碑

この地で詠まれ、万葉集の最後を飾った歌碑を前に、かつての家持の心情に思いを馳せました。

鳥取大会式典

会場：ホテルニューオータニ鳥取 3階 鶴の間

◆動画制作「万葉の郷 ～鳥取県のゆかり～」



大伴家持、山上憶良が、鳥取県で辿った各所を訪問しながら、家持や憶良の残した足跡や思いについて迫る動画を制作、会場入口で上映しました。また、大会キー3大会展示しました。

◆開会のあいさつ



実行委員長 田中 道春 氏

◆歓迎あいさつ



鳥取県知事 平井 伸治 氏



鳥取市長 深澤 義彦 氏

◆来賓あいさつ



衆議院議員 石破 茂 氏



文化庁次長 杉浦 久弘 氏



会場の様子

◆祝電

永岡 桂子文部科学大臣 様／舞立 昇治参議院議員 様／赤沢 亮正衆議院議員 様／青木 一彦参議院議員 様
伊藤 信太郎衆議院議員 様／伊藤 達也衆議院議員 様／服部 誠太郎福岡県知事 様
一般社団法人日本自動車販売協会連合会副会長・専務理事 小糸 正樹 様／ホテルニューオータニ鳥取取締役社長 勝井 博久 様

基調講演

◆演題「スーパー家持」～5人の家持～



歌人 小島 ゆかり 氏

◆演題「鉄道分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組み」



国土交通省鉄道局長 平嶋 隆司 氏

◆ 交流会乾杯あいさつ



副実行委員長 児嶋 祥悟 氏



因幡の傘踊り保存会美敷支部



東京都調布市
調布市長 長友 貴樹 氏



富山県高岡市
高岡市副市長 河村 幹治 氏



宮城県多賀城市
多賀城市長 深谷 晃祐 氏

◆ 交流会自治体PR



鳥取県鳥取市
鳥取市教育委員長 尾室 高志 氏



長野県軽井沢市
軽井沢観光協会会長 土屋 芳春 氏



東京都狛江市
狛江市長 松原 俊雄 氏



福岡県太宰府市
太宰府市長 楠田 大蔵 氏



奈良県明日香村
明日香村参事 作田 亜希子 氏

◆大会キー伝達式

奈良時代に墨で文字を書き記していた「木簡」の形に、咲き誇る白梅を描いたもので、令和の万葉大茶会の次回開催地に伝達されます。鳥取大会では「佐治漆」を使用して製作、次回開催地の太宰府市に伝達しました。



深澤 義彦鳥取市長から平井 伸治鳥取県知事へ



平井 伸治鳥取県知事から楠田 大蔵太宰府市長へ



木地／素材:ケヤキ
塗り／會州堂 漆芸 橋谷田岩男 氏
蒔絵／書 稲垣晴雲 氏
図案作成 橋谷田岩男 氏
下絵 田中稲月 氏
製作／會州堂
制作／令和の万葉大茶会
2022鳥取大会実行委員会
詳細はP19をご覧ください。



大会キー 記念撮影写真



令和2年(2020年)
「令和の万葉大茶会2020東京大会」

「令和の万葉大茶会」が開催され、小池百合子東京都知事より、大会キーが高岡市長(当時)へ伝達されました。



令和3年(2021年)
「令和の万葉大茶会2021高岡大会」

「令和の万葉大茶会2021高岡大会」の大会式典において、大会キーが鳥取市長へ伝達されました。

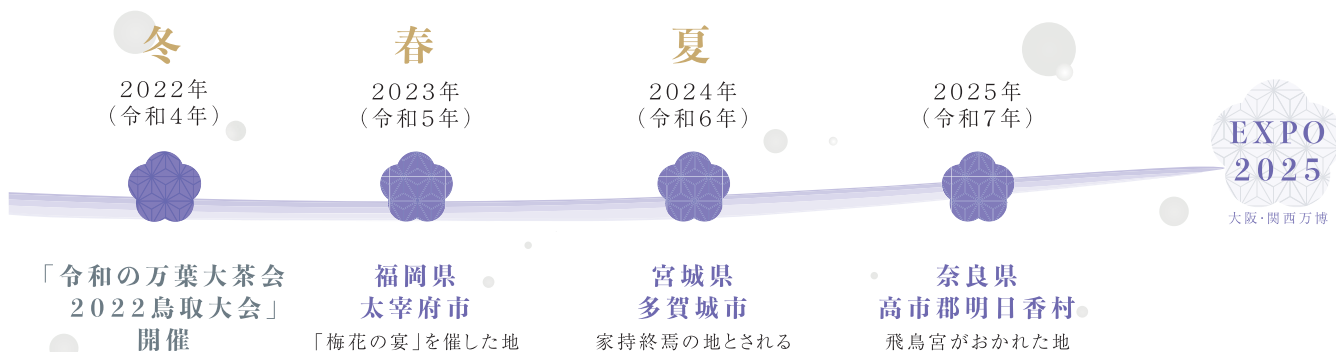


令和4年(2022年)
「令和の万葉大茶会2022鳥取大会」

「令和の万葉大茶会2022鳥取大会」の大会式典において、大会キーが太宰府市長へ伝達されました。

「大伴家持ゆかりの地域を、四季のラインでつなぎ、未来へ」

家持の人生ステージごとに赴任地を巡り、最後は関西地域ゆかりの大阪万博での開催をめざし、大会キーも2025年に向けて伝達されていきます。



◆ 展覧会



「憶良と家持展」

日時：令和4年10月8日（土）～12月4日（日）
鳥取市因幡万葉歴史館では、山上憶良と大伴家持について学芸員解説とともに開催しました。



「万葉の四季～藤内雅苑による書の雅～」

日時：令和4年10月1日（土）～23日（日）
鳥取市あおや郷土館では、万葉集に収められているなじみ深い歌を因州和紙に「万葉の四季～藤内雅苑による書の雅～」と題して展覧会を開催しました。



◆ エクスカーション「あめつち伯耆国府跡ツアー」

日時：令和4年10月16日（日）
実施主体：一般社団法人 倉吉観光MICE協会
参加者：53人

「令和の万葉大茶会2022鳥取大会」の翌日に大茶会の参加者限定のエクスカーションを行いました。
観光列車「あめつち」を貸し切り、伯耆国府跡の見学や、倉吉白壁土蔵群の散策等を行いました。



観光列車あめつち

JR山陰本線鳥取駅～出雲子駅間（定期運行）を走る観光列車。山陰地方を舞台にした神話が多く書かれている古事記の「天地に初発のとき」という書き出しに由来しています。昼食では鳥取の特産品をふんだんに使った「あめつち御前」がふるまわれました。



伯耆国府跡

鳥取県倉吉市、国分寺地区にある伯耆国の国府跡です。
ツアー参加者を対象とした特別講演も実施しました。

◆ 朗唱の会

日時：令和4年10月16日（日）
参加者：631人

朗唱者を公募して、第23回万葉集朗唱の会を鳥取市因幡万葉歴史館伝承館で実施しました。



◆ポスター



16



表紙



見開き



中面全体



表面



裏面

◆鳥取漆器のしおり

鳥取漆器で製作した木簡（大会キー）について、詳しく紹介するために制作したしおり。

鳥取漆器のはじまりと特長、今回の木簡の製作工程、製作にかかわった人々などを掲載した。



表面



裏面



鳥取大会 大会キ一展示

表面 裏面

左：高岡大会 中：鳥取大会 右：東京大会

鳥取漆器について

鳥取漆器の起源は鳥取藩の初代藩主・池田光仲公から始まるとされています。

光仲は因幡・伯耆を有する鳥取藩へ国替えと合わせて漆工を備前と播州から連れてきました。その際、扶持を与えて漆工を御用塗師としました。その後、その技術は明治時代にも引き継がれ、匠といわれた漆器職人が多数存在していたと伝えられています。昭和40年を境に衰退することになりましたが、現在復活運動の行われている「佐治漆」を使用し、「鳥取漆器の再現」を実現しました。(製作者／會州堂 橋谷田岩男 氏)

木簡 表面

梅の蒔絵は、二代目蒔絵氏田中稲月（鳥取県指定無形文化財保持者）に由来する下絵を基に、高蒔絵を施しました。



制作風景



表面



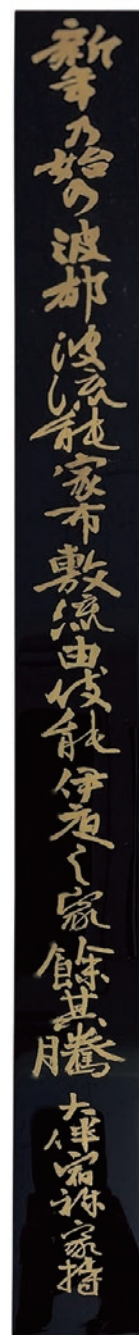
大伴家持が因幡国庁で詠んだ万葉集の締めくくりとなる歌です。

木簡 裏面

新しき 年の始めの 初春の

今日降る雪の いや重け吉事

(万葉集卷二十 4516 大伴家持)



裏面

◆サイン



◆メインステージ



◆グッズ・記念品



ペーパーバッグ



日本博グッズ



牛ノ戸焼



生姜せんべい

きょうの注目

大茶会の大会キー納品 **23**

万葉集ゆかりの地を
巡る「和の万葉大巡
会」鳥取大会は15日、
鳥取市・阿保町「松花
の大会」で開幕。松花
茶会に納品された。

[illegible][illegible][illegible]

令和の源「梅花の宴」を再現

万葉集・源氏物語の地、鳥取で大宴会
 今和の万葉大宴会では、青柳閑賢中の名匠たちが御披露で梅花の家を再現して一鳥取市国府町町長の主迎態万葉集と

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

「梅花の宴」を再現

二〇二〇年 十月

二〇二〇年 十月

二〇二〇年 十月

二〇二〇年 十月

2022年(令和4年)10月19日 木曜日 第 一 (20)

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

ふるさとワイド

中野区民会館 中野区民会館

万葉の宴を水素で

文化



① 金瓶の万葉人祭会。2012年鹿児島大会。



② 万葉の宴。



④ 中学生がのびのびと梅枝の葉を内取したとを境況でとんしと油揚げやじこを水素ロースターで調理し、水素ガスが容易に使用により、地域で活動した4万5千人に扮した甲子年仲夏節取組知事(中央)、石橋茂樹県議員(左から3人目)、筑城大一水素ガス社長(四6人目)ら関係者



③ 万葉の宴。

万葉の宴は、水素ロースターで調理した水素ガスが容易に使用により、地域で活動した4万5千人に扮した甲子年仲夏節取組知事(中央)、石橋茂樹県議員(左から3人目)、筑城大一水素ガス社長(四6人目)ら関係者

万葉の宴は、水素ロースターで調理した水素ガスが容易に使用により、地域で活動した4万5千人に扮した甲子年仲夏節取組知事(中央)、石橋茂樹県議員(左から3人目)、筑城大一水素ガス社長(四6人目)ら関係者

東部シンシヅム

フォーカス いなば

ocus inaba 令和の道しるべ

いにしえの空間へ
梅花の華

「梅の花は、春の訪れを告げる花。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。」

現代風に再現
大舞台

「梅の花は、春の訪れを告げる花。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。」

梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。

「梅の花は、春の訪れを告げる花。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。」

電音で音で鳴る。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。

「梅の花は、春の訪れを告げる花。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。」

梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。

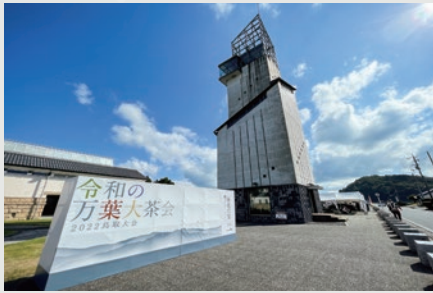
大会をリレー

「梅の花は、春の訪れを告げる花。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。いなばの春は、梅の花の香りが漂う。」

万葉文化に 浸るひととき

令和の万葉大茶会鳥取大会

22



◆主 催 令和の万葉大茶会2022鳥取大会実行委員会

◆共 催 公益財団法人鳥取市文化財団

◆後 援 鳥取県、鳥取市、鳥取市教育委員会、東京都調布市、東京都狛江市、長野県軽井沢町、富山県高岡市、福岡県太宰府市、福岡県太宰府市教育委員会、宮城県多賀城市、奈良県明日香村、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、日本海テレビ、中国新聞鳥取支局、日本海ケーブルネットワーク、いなびりょんぴょんネット、新日本海新聞社、朝日新聞鳥取総局、山陰中央新報社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、日本経済新聞社鳥取支局、エフエム山陰（順不同）

◆協 力 鳥取県、鳥取ガス株式会社

◆協 賛 鳥取ガス株式会社、鳥取ガス産業株式会社

株式会社とっとり市民電力、エネトピアライフサービス株式会社、エネトピアエンジニア株式会社、エネトピアコミュニケーションズ株式会社、株式会社アクシス、株式会社山陰合同銀行、株式会社サンマート、第一エンジニアリング株式会社、大和建設株式会社、株式会社鳥取銀行、鳥取信用金庫、一般財団法人日本きのこセンター

株式会社愛進堂、医療法人明穂整形外科、因幡環境整備株式会社、因幡国一の宮宇倍神社、株式会社エムアンドエムドットコー、株式会社きたむら、山陰警備保障株式会社、三洋テクノソリューションズ鳥取株式会社、サンヨーグループ、株式会社島根銀行、田中工業株式会社、株式会社千代田工務店、東洋交通施設株式会社、鳥取市東商工会、鳥取ビルコン株式会社、株式会社鳥取砂丘会館、株式会社戸信、株式会社中井脩、日新工業有限会社、株式会社白兎設計事務所、日ノ丸産業株式会社、水野商事株式会社、株式会社三井E&Sホールディングス、リバードコーポレーション株式会社

因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会、有限会社家電のきのした、久大建材株式会社、株式会社田中造園土木、吉田建設株式会社、アイコンヤマト株式会社、アトリエ小学校、サンライズ工業株式会社、正田工業有限会社、寺村モータース、ムラオ電機、いなば国府ガイドクラブ、因幡の傘踊り保存会、因幡国一の宮宇倍神社総代会、井上石油店、宇倍神社崇敬会、国府文化協会、サラダ館国府店、株式会社三協レンタル、青翔開智中学校青翔開智高等学校、株式会社兎り兎、鳥取市東商工会女性部、鳥取市東商工会青年部、有限会社中信建設、福田養蜂場、特定非営利活動法人万葉のふるさと国府創生会、未来建設株式会社、無量光寺、株式会社メモワールイナバ、山本隆

◆助 成 独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁、鳥取県、鳥取市

◆企 画 一般社団法人 令和・家持ネットワーク協議会